

冬の枝先

を見る

ドロヤナギ（ドロノキ）



❧ いろいろな冬芽・変な「顔」・トゲ・毛・対生・・・ ❧



「変な顔」(葉痕)をもつオニグルミ

冬芽は、木々が冬の間にしている準備です。春に新たな葉や花となるのです(1つだけカッターで切ってみましょう)。葉を落としてしまった木も、冬芽の特徴をつかめば違いが見えてきます。

変わった形の冬芽や葉のあと、トゲのあるもの、毛のあるもの、向かい合って芽が生えているもの(対生=たいせい)などが注目点です。



トゲといえばタラノキ



ハリギリにもトゲがある



カラフトイバラにもトゲ



少し長い芽を持つハンノキ



毛のあるケヤマハンノキ



枝先で大きく毛におおわれているキタコブシの花芽



冬芽も枝も力強いイヌエンジュ



向かい合うエゾニワトコの冬芽
(対生=たいせい、という)



マユミも対生

参考文献

「冬芽でわかる落葉樹」馬場多久男 信濃毎日新聞社 1993
「北海道 樹木図鑑」佐藤孝夫 亜細亜社 1990
「山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花①」茂木透 写真 山と溪谷社 2000

「山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花 離弁花②」茂木透 写真 山と溪谷社 2000